

## エコライフ・フェア'94に出展

環境庁、東京都、文京区、環境事業団等11組織のエコライフ・フェア'94実行委員会による主催で6月10日(金)から12日(日)まで東京ドーム・プリズムホール及びその周辺で開催された。出展者は、諸団体や会社等21を数えた。

今回のフェアは「親子のための環境展」を主題に、出展団体が、各ブースでクイズやゲーム、工作等を通して環境問題にどのように取り組み、考えているか、また、地球環境に優しい商品作りを目指している様子等を紹介していた。

テーマゾーンでは、平成環境塾と題し、教室風のディスプレイの中で、社会・算数・国語をとおして、環境問題を考えられるように、クイズを実施していた。(写真1)。

日本タバコ産業(株)では、たばこケースによるペーパークラフト(写真2)、(社)日本自動車工業会では、ソーラカー(写真3)や環境にやさしいエンジンの展示。

自転車環境整備促進協議会では(写真4)、地球にやさしいサイクル・エコトピア<自転車が守る環境・創る環境>と題して展示し、イメージコーナーでは、環境にやさしい乗り物として、緑の木立の中のMTBを「守る環境」、

テクノロジーコーナーでは、自転車を構成する主要部品パネル、社会への適合を重視した「3Sサイクル(省資源・省スペース・再資源化)」の試作車(写真5)、自転車部品を利用したソファ、椅子等の「創る環境」等理解の得やすい展示であった。(写真6)。また、ステージでは、キャラクタ「輪太郎くん」の進行でクイズやゲーム(写真7)等を実施、人気があった。

技研からは、現在生産されている自転車の中から、軽快車のスタッガード形を分解して、使用されている材料、質量等を測定し、再資源化のための自転車開発時の参考資料とした部品分解パネル(写真8)を出展。

見学に来た小学生が、いつも乗っている自転車が、多くの部品で作られていることを知って、「良い勉強になった。」と言って帰っていったとのことであった。

プリズムホールの外では、堺市から特別出展された、ソーラ自転車(写真9)に人気があった。

全体的には、「地球ともっともっと、なかよくつきあうために」をキャッチフレーズに、諸団体、会社、公共機関等が、色々な形で、地球環境を守っていくことを、誰にでも分かりやすく紹介していた。(生産技術研究部)

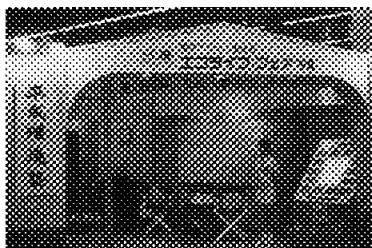


写真1 テーマゾーンの平成環境塾

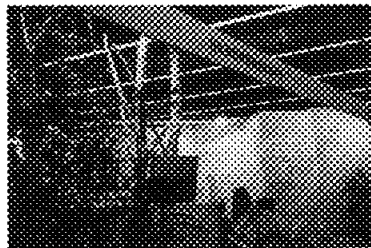


写真4 自転車環境整備促進協議会展示場

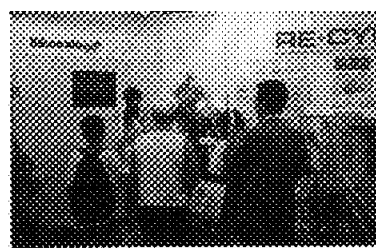


写真7 「輪太郎くん」によるゲーム状況

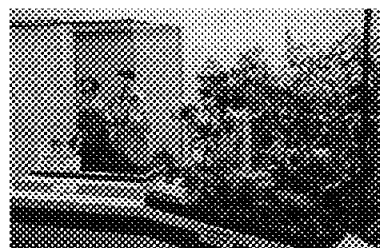


写真2 たばこケースによるペーパークラフト



写真5 3Sサイクル試作車



写真8 自転車部品分解パネル

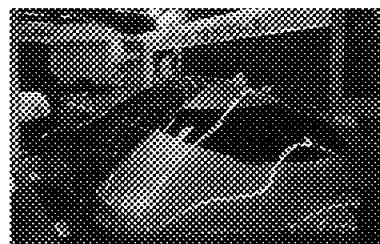


写真3 ソーラカー

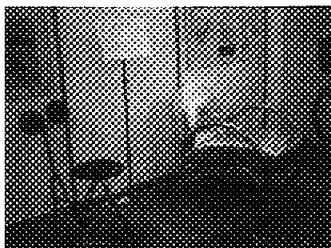


写真6 廃棄自転車部品の再利用製品

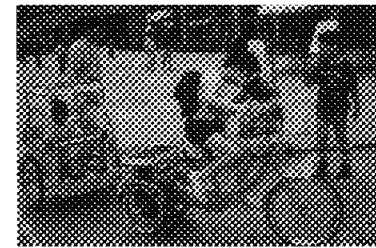


写真9 ソーラ自転車試乗会状況